

なみきじ



令和4年12月21日 55年の歴史に幕をひいた旧議場



むらの木・リュウキユアマ

将来の夢



題字執筆者紹介

今帰仁小学校6年

与那嶺 幸

た	れ	ほ	に	て	写	も	な	真	真	
い	る	、	ち	も	真	か	人	家	家	ほ
で	写	じ	が	ら	も	オ	の	に	に	く
す	真	い	笑	い	世	ラ	笑	な	な	の
	家	口	顔	、	界	で	顔	れ	る	将
	に	い	に	写	の	と	や	た	こ	来
	ほ	の	ほ	真	み	っ	家	ら	と	の
	く	よ	れ	も	ん	て	族	、	で	夢
	ほ	う	る	み	な	、	の	い	す	は
	な	に	よ	た	に	そ	幸	ろ	。	、
	り	な	う	人	お	の	せ	ん	写	写

もくじ

- 一般質問と答弁 **2** p
- 議決結果・賛否一覧表 **13** p
- 宮崎県綾町視察研修 **14** p
- 叙勲・研修 **15** p
- 編集後記 **16** p

一般質問

12月定例会

会期日程（12月12日～21日）

10名が一般質問しました 12月19日～21日（通告順）

3P	與那 勝治	<ul style="list-style-type: none"> ① 村営パークゴルフ場について ② 大井川浚渫について ③ 運動公園内ステージ前広場について
4P	根路銘弘美	<ul style="list-style-type: none"> ① 本部町・今帰仁村指定ごみ袋(黄色) について ② 燃えないごみ資源ごみ等について ③ 紙おむつやパット等を透明な袋に入れて出す事を提案することについて ④ 今帰仁城跡・仲原馬場のトイレについて
5P	山城 太	<ul style="list-style-type: none"> ① 防潮防風等対策の樹木の管理について ② 農業振興について ③ 交通安全対策について ④ 教育行政について ⑤ 国立自然史博物館のやんばる地域への誘致について
6P	東恩納寛政	<ul style="list-style-type: none"> ① 今帰仁村自主防災会の結成について ② 沖縄北部テーマパークプロジェクトの進捗について
7P	座間味 靖	<ul style="list-style-type: none"> ① 渡喜仁区の道路の整備について ② ヒージャーガー周辺の整備について ③ 有機農業の推進について ④ 子ども家庭庁設置に伴う再編について ⑤ 防災放送設備について ⑥ タイワンハブの対策について
8P	座間味邦昭	<ul style="list-style-type: none"> ① 今帰仁村第五次総合計画等について ② 企業版ふるさと納税について
9P	島袋 輝也	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和4年度施政方針と重点施策について ② 安全、安心して暮らせる生活環境の整備について ③ 世界のウチナンチュ大会について
10P	座間味 薫	<ul style="list-style-type: none"> ① 医療福祉について
11P	上間 聡	<ul style="list-style-type: none"> ① 道路の未整備箇所について ② 通学路の街灯整備について ③ タイワンハブの対策について
12P	島袋 誠	<ul style="list-style-type: none"> ① 本村における情報発信について ② パークゴルフ場建設について ③ 令和4年度県外インターンシップ研修事業について

●の数字は掲載された質問です。それ以外の質問は紙面の都合上割愛されています。本会議録については各字公民館に配布の予定です。詳しく調べたい方は、公民館もしくは議会事務局までお立ち寄りください。

問1 村営パークゴルフ

村営パークゴルフ場建設は喫緊の課題だと捉えているが。

答 久田浩也村長

広大な敷地面積の確保と多額の建設費用の捻出が課題に挙げられており、実現において補助事業等を活用した整備を含め調査研究をしている。

答 福祉保健課長
必要性は感じているが、実現に関しては今の状況では厳しいと認識している。

問 民間のパークゴルフ場がなくなったことにより支障を来している。スピード感を持ってやらなければいけない喫緊の課題である。この辺を踏まえていつ頃できるか等、当局のスピード感をぜひお聞かせ願いたい。

答 村長

私どものほうでも案がございまして、今しっかりと精査している状況と理解をいただきたい。

問 世代間交流、地域内交流、健康促進効果、さらに高齢者の皆様の生きがいづくりの場として、パークゴルフ場は必要不可欠である。必要性について。

問 パークゴルフ場の実現に向け総力を挙げて動いてい



與那 勝治 議員

ただきたいが。

答 村長

候補地選定を含め、基本計画業務に移行するという段階にきている。それらの結果を精査し、遠くない時期に判断をしてみたい。



問2 大井川浚渫

大井川浚渫の進捗状況は。

答 村長

令和3年8月の「沖縄県土木建築部と北部市町村との行政懇談会」において、浚渫工事の実施を強く要望をしている。

問 大井川は2級河川となっているが、浚渫事業は県が行うのか村が行うのか。

答 建設課長

2級河川となっております、沖

縄県が管理する河川であるので沖縄県が実施することとなる。

問 行政懇談会において要望をしたとあるが、村単独で県にも伺って要望をしていくべき事項ではないか。

答 建設課長

村としても早く浚渫ができるよう要望していきたい。

問 昨今の大雨による影響で大井川は氾濫危険水域に達したのではないかと思える状況があった。このような中、近隣住民がどのタイミングで避難したらいいのか分からずに困っている。そこで目視でも分かるような分かりやすい水位標と暗闇でも判断できるような水位計を設置できないか。

答 建設課長

沖縄県の管理であり、設置について要望していきたい。

問 全て県に丸投げではなく、危険水位に達するとパトランプが光るような形だと一目瞭然で、警戒を呼びかける一つになり、指標にもなる。そういうところも具体的な要望もしていかなければいけないと思うが。

答 建設課長

水位計と水位標を合わせて一緒に設置するほうがわかりやすく効果的だと考える。2つセットで要望していきたい。

答 村長
近年短時間で集中的な降雨が各地で発生していることは認識しており、目視での水位計等は住民の安全確保の観点から必要である



根路銘弘美 議員

問1 本部町・今帰仁村指定ごみ袋

ごみの出し方はどのように周知しているか。

答 住民課長

ごみの正しい出し方の周知につきましては、広報を活用したり、あるいは回収に至らなかったごみの実際の状況を確認して、村民の皆さんに説明をする中で徹底している状況。また、リーフレット等も各世帯に配っており、十分に周知を図る環境を整えていると認識をしている。

問 リーフレットに一世帯で一回に出せるごみ袋は4袋で、5袋以上は直接搬入とあるが、大きな文字にするとか、色分けすると住民は

わかりやすいかと思うが。

答 住民課長

一世帯で出すごみ袋は4袋をめぐりにお願いをしている。その内容がわかりにくいという指摘もあり、住民の皆さんもそのように感じていらっしゃる方も多いかと思う。リーフレット等、ポスター等で、わかりやすい表示に心掛けたい。

問 ごみ袋が有料化になって一番の効果は。

答 住民課長

ごみの有料化の目的がごみの減量化とリサイクルの推進、それから、ごみ処理費の負担の公平をうたうとともに、住民の皆さんのご

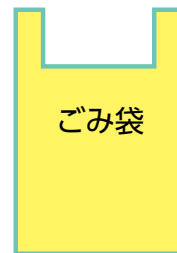
みに対する意識の向上を図るとのこと。又、ごみ処理経費の削減と最終処分場あるいは焼却施設の延命化を最終的には目的にしていた。このことから、有料化を実施してやはり減量化が進んでおり、これは大きな効果だと考える。それから、リサイクルごみの分別も住民の皆さんの意識が向上したと捉えている。

問2 紙オムツやパット等を透明な袋に入れて出すことを提案

本村も少子高齢化が進んでいる。コロナや世界情勢の影響で、物価は高騰、年金は下がり、失業など様々な要因で厳しい生活を強いられている昨今、子育て支援、介護支援を少しでも助ける意味で、小さな積み重ねかもしれないが、紙オムツやパットを村指定有料ごみ袋（黄色）から安価な透明ごみ袋に変えることを検討頂けないか伺う。

答 村長

指定ごみ袋（黄色）で出す事がルール。紙オムツやパット等を透明ごみ袋に変える事は現在考えていない。



問3 今帰仁城跡と仲原馬場のトイレ

今帰仁城跡の大型バス駐車場内あるトイレと仲原馬場の男子トイレは和式のみ。大型バスを利用される団体は、高齢者や修学旅行生が多いと予想される。近年では人工関節や人工骨頭

答 副村長

トイレの洋式化については、当時から生活様式の変化や、高齢者等の利便性を考慮すると改善は必要であると認識している。トイレ洋式化については、補助事業の活用なども含め調査研究していく。

問 今帰仁城跡、仲原馬場の男子トイレ個室にごみ箱の設置について。

答 教育長

施設管理を担う係及び関係者において調整し、ごみ箱設置を検討していく。





山城 太 議員

問1 防潮防風対策の樹木の管理

危険性の高い樹木の管理対策を伺う。

答 村長

管理については、村内全ての把握はしていないが、危険木については住民、区長の要望により伐採を行っている。今後も区長等と連携し管理対策に努める。

問 今年はこの地区、次年度はこの地区と言う事なのか。

答 経済課長

予算は一括交付金で、地域を限定しているのではなく、地域から要望があり予算内で伐採処理している。

問 区長からその様な要望をするのが良いのか。

答 経済課長

区長から要望してもらい、現場を確認して伐採出来るものなのか、保安林だと県に申請が必要。村の判断で出来ない場合があるので、住民や区長で要望してもらいたい。

問2 農業振興

村民自ら改良した果樹(みかんサントル種)を普及させたい、村の協力体制を伺う。

答 村長

その種(サントル種)については、本村では把握していない。今後沖縄県農業改良普及課及び関係機関と

確認する。

問 県農業普及課や関係者と現地へ確認後、今後普及協力体制を構築すると理解して良いか。

答 課長

関係機関と現地の調査を行い、品種は認定できるものかを検討する。

問 早めに対応してもらいたいですが、今年度中なのか次年度になるのか。

答 経済課長

まず現場を確認させてもらいたい。

問3 交通安全対策

村道平敷伊豆味線において、結構スピードを出している車を見かけ、危険を感じる。ことがあるが、交通安全対策はどうなっているか伺う。

答 村長

同村道区間での車両等のスピードが出やすい箇所が

あると認識している。安全対策については、本部警察署と連携し、調査研究していく。

問 村道平敷伊豆味線はスピードが出しやすい、出やすいところがあるが、同道路には交通安全の標識や、「スピード落とせ」などは設置されているか。

答 建設課長

同道路は注意喚起する標識はない。

問 最初の村長の答弁で既にスピードが出やすい箇所であると認識されており、注意喚起を促すものが有って当然だと思つが。

答 建設課長

スピードが出やすい箇所は認知しているが、これやるには交通を管理している本部警察署と一緒に、それぞれが良い方法なのか、それを調査研究していきたい。

問 これまで何故やってこなかったのか。

答 建設課長

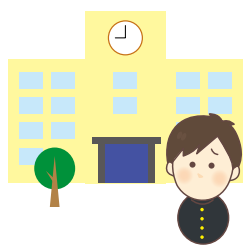
地域からの要望、指摘がなく、それと通学路として位置づけされていないので、その二つが要因なのかなと思う。今後平敷伊豆味線については、本部警察署と連携し、対策について調査研究していく。

問4 教育行政

不登校児童生徒の状況対策を伺う。

答 教育長

令和4年10月現在で、小学校で10名、中学校で16名と把握している。担任などが定期的に家庭と連絡を取り、相談員、臨床心理士等々と情報を共有し、必要に応じて関係機関につなぐなど学校と協力しながら対応している。



問1 今帰仁村自主防災会の結成 (湧川地区自主防災会)

自主防災会結成について 村としての対応は。

答 村長

現在、本今消防組合、今帰仁分遣所と連携し、村内一部の地区においてモデル的自主防災組織の立ち上げに取り組んでいる。今後も関係機関と連携に努めていきたい。



自主防災会の認定証の交付式で久田村長と湧川防災会の嘉陽崇会長



東恩納寛政 議員

問 先進市町村では、防災会への物的財源・AEDなどの支援があるが、村への国・県からの補助について伺う。

答 村長

村への国・県などからの補助については、消防庁が所管する支援事業があり、その内容は防災用資機材、消耗品などの物品購入などが可能となるが、物品のみの購入は支援事業の対象にはならず、防災訓練の実施などが要件となる。



問 各地区自主防災会設立への対応について伺う

答 村長

現在進めている一部地域の自主防災組織が正式に結成次第、その地域の取組を強化していくために村としてできる取組を検討するとともに、各地域への自主防災組織の立ち上げに向けては、たつきかけを行う。

問2 沖縄北部テーマパークプロジェクトの進捗

全体計画の概要について伺う。



旧嵐山ゴルフ場跡地に沖縄北部テーマパーク建設工事が急ピッチで進められている。

答 村長

事業者の工程として、準備擁壁工、造成工事、各種インフラ、メイン埋設配管工事、各建屋躯体、仕上げ工事、外装舗装工事が2025年3月までの予定でお示しされている。

問 給・排水計画、ごみ処理計画、景観条例への配慮について伺う。

答 村長

給・排水計画、ごみ処理計画、景観条例への配慮については、関係各所との調整が進行していると伺っている。

問 今帰仁村民の雇用効果について伺う。

答 村長

造成工事が始まっているが、施設内の整備工程が進む中で開業に向けての募集を行うと伺っている。

問 あいあいファームの跡地利用に関する事業者の考えは。

答 村長

社内で検討中と伺っている。

問 開業後のテーマパークのイメージ(事業内容)は。

答 村長

現在把握している内容として、インフォメーションゾーン、自然体験ゾーン、眺望体験ゾーン、飲食・物販ゾーン、リラクゼーション施設等各ゾーン整備を行うと伺っている。

村長として、私の政策の1丁目1番地とらえている。本村にとっても千載一遇のチャンスである。観光企業誘致、その中で交流人口、移住者、定住人口につながり、これは全庁を挙げて取り組んでいく所存である。





座間味 靖 議員

問1 渡喜仁区の道路整備

生活道路の未整備により近隣区民から不満や苦情が出ている。以前、渡喜仁区より3力所の道路整備に関する要請が出ているが、進捗状況（現状）を伺う。

答 村長

要請書については、平成29年6月9日に渡喜仁区から提出されている。村としては平成29年8月31日付で、簡易舗装を検討するにあたり、区へ道路周辺地権者の同意書添付の提出を依頼している。簡易舗装整備については要望が多く、緊急性及び周辺地権者の同意書等を勘案し検討していく。

問2 ヒージャーガー周辺の整備

通称ヒージャーガーは歴史的にも意義深く、区民の心の拠り所であり原点である。現在は展望用の柵が壊れ、砂や石が打ち上げられ、一部崖が崩れて危険な状況である。以前、渡喜仁区より「ヒージャーガー周辺の整備」に関する要請が出ているが、進捗状況（現状）を伺う。

答 村長

平成29年10月20日付で、渡喜仁区長より提出されているのは確認している。ヒージャーガーは、海岸保全区域に位置しており、周辺整備等は、沖縄県の管轄と認識している。

問 歴史的にとっても意義深い場所なので、何か村として文化財に指定をし、村、県、国あたりの補助事業等を使って、管理運用できないか伺う。

答 社会教育課長

指定に関してはプロセスがあるので、文化財担当、県等と調整し、それができるとかどうか、一旦、持ち帰って検討したいと考えている。

問3 有機農業の推進

農業の振興についての施政方針で「持続可能な農業を目指す」とあるが、有機農業を進める」とあるが、有機農業の推進について伺う。

答 村長

本村では、持続性の高い農業生産方式の導入で減農薬を目標に作物を栽培している農家がある。有機農業については、栽培農家と情報交換を行うとともに、現状把握を行い関係機関と連携し調査を行うっていく。

問4 子ども家庭庁設置に伴う再編

令和5年4月より子ども家庭庁が設置されるが、それに伴い本村の組織の再編や新しい取り組みがあるのか伺う。

答 教育長

令和5年4月より、子ども家庭庁の設置に伴う村の組織再編や新しい取り組みについては、福祉保健課と幼保連携推進室が再編される予定。新しい取り組みについては、国・県の動向を踏まえ組織体制の在り方について、調査研究していく。

問 幼児教育の重要性を考えると幼保連携推進室は教育の専門である教育委員会の中に

あるのが良いと思う。教育委員会には教育長、指導主事、相談員、臨床心理士、ソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等の専門の方々がおり、このような人材を有効に活用して幼児教育を推進するのが良いと思うが。

答 幼保連携推進室長

保育園は厚労省の管轄、幼稚園は文科省。現在、今帰仁村の幼稚園は、認定こども園に移行している。総合的に考えると、福祉こども課で村長部局へ移すのが適切だと考える。

問5 防災放送設備

各字の防災放送設備について、有線から無線へ変更の要望が出ているが、見解を伺う。

答 村長

現在使用されている放送設備としては、行政情報をお知らせする村管理の防災行政無線と、区が所有し管理運用する管内放送設備がある。これまで区の備品等をそろえるに当たっては、コミュニティ助成事業を活用し、備品等の整備を行ってきた経緯があり、同事業を活用し放送設備の改修も可能と考える。





座間味邦昭 議員

問1 今帰仁村第五次総合計画

令和4年度の村長の重点

施策で、特に重きを置いている今後10年間の今帰仁村の方向性を示す今帰仁村第五次総合計画及び人口ビジョン、第二期地方創生総合戦略がコロナの影響で策定作業が伸びているが、速やかに両計画を策定させ早期完成を進めると施政方針で示しているが、進捗状況を伺う。

答 村長

現在、第3回委員会を終え、村民からのパブリックコメントを実施し、意見集約後第4回委員会を行い各委員の意見を拝聴し、計画策定作業を進めていく。

問 今年度いっぱいです上がると言う事で理解してよいのか。

答 企画財政課長

年度内の3月までに作成するという事で作業を進めている。整えば速やかに報告という形で提案できればと思っている。

問 今後の方向性に対して、村長の思いが詰まっていると思うが、どのような思いを込めて本件の計画を立てたか伺う。

答 村長

アフターコロナを見据えて、いろいろな視点や捉え方は村民の皆様からもあるうかと認識しているが、パ

ブリックコメントを中心に本村の将来のあるべき姿について幅広く議論が深まっていければと思っている。

問 幅広くとか抽象的な内容ではなく、具体的に村長の思いが十分入り、その施策が生かされていく計画に

していくべきだと思つ。テーマパークを村発展の起爆剤にし、1,300名から1,500名の雇用創出効果があると唱えているが、計画に人口、特に生産年齢の人口の増加が全く計画には見えてこない。村としても人口を維持したいという話をしてるのであればもっと具体的に計画に書いてもよかつたのではないか。

答 企画財政課長

現在の今帰仁村の現状という部分に照らしたとき、まだ開業前なので一旦は村の現状の中だけでの数値として計画は捉えている。テーマパークの開業による人口増加が見込めるのではないかとこの意見であるが、具

体的には先方のほうからは何人の募集があるかは示されておらず、話として最大で1,500名程度であるが、開業にあつたてのスタッフが住む場所についても意見交換したが、実際には近隣の市町村から通勤される方も多くいらっしゃるという話も伺つている。村として、関連企業との意見を踏まえ

そういつた場所が提供できているところである。村として現在の人口を維持しながら目標値として諮問委員長のもとで9,600人の人口を目指すという形を示している。

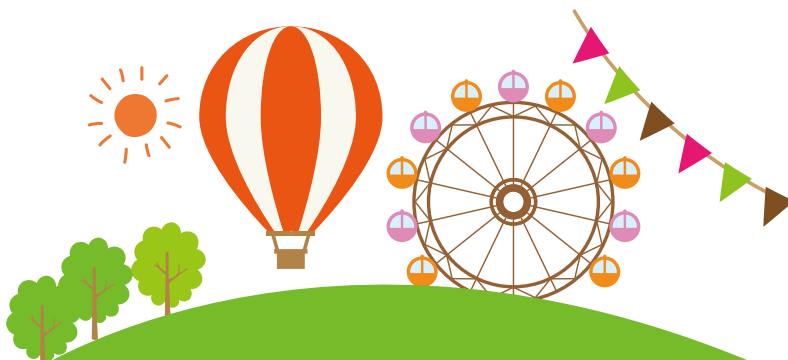
問 計画の目標値を諮問委員の委員長が定めるのではなく、将来の方向性を示し、目標を責任をもって村長が定め、行政、住民サービスを充実させていきながら住みよい村づくり徹底的に追及して、今後の計画に関して、村長は最終責任者として、責任をもって施策を打

つていくということを示す

ていただきたい。

答 村長

パブリックコメントの集約をしつかり見ながら、しっかり責任をもつた数値を出していきたいと思つている。





島袋 輝也 議員

1 令和4年度施政方針と重点施策

問 今帰仁小学校改築事業について伺う。

答 教育長

今帰仁小学校改築事業については、基本設計及び実施設計の発注を行い、現今帰仁小学校敷地内での校舎の建設位置が決定した段階、現在、実施設計と並行して仮設校舎の設置及び一部校舎解体の検討を行っている段階。

答 村長

経営発展事業、新規畑人資金支援事業で担い手農家の育成・確保に向けて現在、事業を進めている。また、各

種事業の活用及び導入については、関係機関と連携し、導入に努めていく。

問 平和行政の推進について伺う。

答 教育長

小学校及び中学校における修学旅行において、戦跡巡りや平和祈念公園等での平和学習を実施し、歴史文化センターにおいては企画展や文化講座を開催している。

2 安全、安心して暮らせる生活環境の整備

問 村の水道水が配水されない地域があるが今後の配水計画について水道事業管理者の見解を伺う。

答 村長

現在今帰仁村で実施中の事業は、「沖縄簡易水道等施設整備費（上水道施設）国庫補助事業」にて水道施設整備を計画的に進めている。現在の水道事業整備計画が令和7年度までとなっており、次期計画での検討となる。

問 古宇利アマジャフバル農村公園管理のあり方、及び古宇利地域への複合遊具等の設置について伺う。

答 村長

古宇利アマジャフバル農村公園管理のあり方については、古宇利区と管理委託契約を締結している。古宇利地域の複合遊具などの設置計画はない。

答 村長

本村でのタイワンハブの定着状況については、令和4年度11月末現在におけるタ

イワンハブの捕獲状況から見ると、古宇利区を省く18字で捕獲されており、タイワンハブは村内に広く定着しているものと認識をしている。

ハブ咬症の状況については、沖縄県衛生環境研究所の年まとめのデータによると、平成29年から令和3年までの5年間でハブが8件、タイワンハブが1件となっている。



3 世界のウチナンチュ大会

第7回世界のウチナンチュ大会の期間中、11月2日に世界のナキジンチュウ歓迎会を開催することで、予算計上はあるが、本村での歓迎などの取り組みをしなかった経緯について伺う。

答 村長

世界のナキジンチュウ歓迎会を開催しなかった経緯に

については、長引く新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、やむなく中止とした。当初、11月2日の歓迎会に向けて、食糧費及び報償費を予算化し準備を進めていたが、中止と決定した後は予算の組替えを行い、村の紹介動画を作成し村長からのメッセージを添えて、世界のナキジンチュウの皆様へ多言語での情報発信を行っている。

問 南米移住者子弟研修事業について、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

答 村長

平成24年度にアルゼンチンからの研修生受入れを最後に、事業が行われていない状況。同事業の再開については、充当できる財源、補助事業の活用なども含め検討していく。



問1 医療福祉

公立北部医療センターの進捗について伺う。

答 村長

進捗状況については、令和10年度の開院を目指し、令和4年度は病院施設の基本設計と一部事務組合となる北部医療組合の設置に向けて、関係地方公共機関と調整を行っている。

問 (合意書) 15条の県立北部病院附属診療所及び北部12市町村が設置した診療所は、原則として北部医療センターの附属診療所として位置づけるとあるが、既存の市町村立診療所のことを



座間味 薫 議員

答 福祉保健課長
令和4年8月現在で12診療所あり、その中で開院時



指しているのか伺う。

に移管することを明確に示しているのが、国頭村、東部へき地、東村、伊平屋村、伊是名村の5ヶ所、開院後移管したい久志を合わせて6診療機関。移管はしないと表明しているのは恩納村と金武町。スポーツクリニックと大宜味村については検討中としており、開院後の経営状況を踏まえ検討したいのは、伊江村、屋我地診療所になっている。

問 美ら海クリニックは廃止となり、統合後、提供している機能は医療センターに引き継ぐものとするとなっているが、送迎部分についても引き継がれることになるのか伺う。

答 福祉保健課長
県で名護市と話し合いをしているところであり、今後実現も含め、住民の意見を聴取し、北部医療センターに通いやすい環境は考えていきたいという旨の回答があった。

答 福祉保健課長

本村において現在微増微減を繰り返している状況。高齢化により増えているが、新たに透析になる方は少なくなっている。要因として若い世代の透析患者が少なくなっていることが想定される。

問 透析導入治療について伺う。

答 福祉保健課長

問 北部医療センターにおいて夜間透析が行える体制づくりはできないか伺う。

答 福祉保健課長
夜間の透析に関しては、整備が必要ではないかと他市町村からも意見がある。令和10年の開院に向けて両病院で構成する医療機能部会において協議していききたいとの回答は頂いている。

答 福祉保健課長

夜間の透析に関しては、整備が必要ではないかと他市町村からも意見がある。令和10年の開院に向けて両病院で構成する医療機能部会において協議していききたいとの回答は頂いている。



題字募集

題字募集のサイズ
たて4cm×よこ17.8cm
ひらがな横書き



議会だより

「なきじん」の題字を募集します。

今帰仁村内小学校のみなさん、
あなたの文字をお待ちしております。



お問い合わせは、今帰仁村議会事務局 (☎56-4397)まで



上間 聡 議員

問1 道路の未整備

生活居住区の道路の未整備箇所が点在しており、雨天などの悪天候時には、生活に支障を生じている現状である。対策について見解を伺う。

場を確認し、検討したい。

答 村長

現場の状況を確認し、補助事業の活用を含めて調査研究をしていく。

問 崎山区の海岸線の村道

が舗装されておらず、雨天時には徒歩では歩けないほどの大きな水たまりができ、長期にわたり補修などもされずに放置の状態である。対処を伺う。

答 村長

現場の状況を確認し、補助事業の活用を含めて調査研究をしていく。

問 農道についても未整備の

箇所があり凹凸が強く、農産物の搬送に支障を来す悪路も点在している。品質管理、農業振興にも関わって

答 村長

現場の状況を確認し、補助事業の活用を含めて調査研究をしていく。

問 土地改良区の農道について

手つかずではないかと思うが、農道については青果・製品の搬送にも影響するので、スイカ、マンゴー等の品質管理にも大きな影響があるかと思い、相当気を遣って運搬をしている状況である。これについては農業振興にも関わってくるのだと思う。

答 経済課長

整備舗装がされておらず、凹凸も多いということ、事業では難しい。村単費になるかと思う。この辺りは現場を見て検討させていただきたい。

問2 通学路の街灯整備

通学路に利用している村道で民家と民家の距離と街灯自体の.Spanも長く中間地点では薄暗く、昨今の不

答 村長

審者・タイムワンハブ等の増加に伴い被害も聞こえてくる。生徒たちの安全確保のためにも街灯増設をする必要があると思うが、見解を伺う。

答 村長

平成29年度に各区の要望を踏まえ、国の補助事業を活用し、設置については村、維持管理については区が対応することで防犯灯の設置事業を行った経緯がある。街灯設置については、活用できる補助事業等の調査研究を行っていく。

問3 タイワンハブの対策

タイムワンハブの増加に伴い被害の状況も耳にするが、農作業にも影響が出かねないので対策について伺う。

答 村長

一括交付金を活用した環境保全美化推進事業で2名の会計年度任期職員を任用し、捕獲器の設置及びパトロールを行っている。また、

答 住民課長

住民からのハブ死骸買い上げを行うことで住民と協同型の対策を実施している。
問 対策については、今現在も取り組んでいると思うが、増加の傾向を見るともっと対策自体を強化する必要があるのではないか。

今現在の時期でも捕獲数が大分増えていることからすると、急激に増えているという認識をもっている。今後の対策については今までのやり方とプラスして、網の設置で侵入防止等も図れるのかを含めた検討をしている。私どもも県の対策室との協議を重ねながら、ワンランクアップした形で対策に取り組めるように心がけていきたい。



問1 本村における情報発信

地方分権により地域間の競争が激化し、戦略的に情報発信を行う自治体が増加している。令和3年12月定例会において地域情報発信・行政情報発信について伺ったが、今回は村外に向けての魅力発信・観光発信の状況を伺う。

答 村長

今帰仁村体験・滞在型観光推進事業、今帰仁村着地型観光推進事業を観光協会に委託し実施している。

問 情報発信をどのような手段を用いて行っているかを具体的に伺う。

答 経済課長

村のホームページや観光協会のホームページで案内している。

問

以前は経済課の商工観光係でインスタでの情報発信を行っていた事もある。いろいろな手段を模索して頂きたい。たとえばゆるキャラを再考したり、新たな観光大使に就任してもらうとか。12月20日の琉球新報に掲載されたが2017年に今帰仁城跡でソロコンサートを開催した縁で『ももいろクローバーZ』の高城れにさんが、その後毎年のように本村を訪れている。本人曰く「今帰仁村は居心地が良く大好きな場所」とおっしゃって頂いている。数

年前も提案したが、今がチャンスではないか。観光大使として打診する考えはないか伺う。

答 経済課長

観光協会からも打診はある。重々詰めていきたいと考えている。

問2 パークゴルフ場建設

以前からパークゴルフ場建設を求める声がある状況である。生きがいづくり・健康づくりにも寄与するところから建設を計画してはいかがか。

答 福祉保健課長

パークゴルフはコミュニティスポーツとして、健康づくりや交流の場にもつながると認識している。施設整備に関しては課題もあり、民間、公営、他の可能性も含めて調査研究していきたい。

答 教育長

派遣者選考、応募資格について記述に誤りがあり、生徒及び保護者に訂正とお詫びの文書を送付した。

答 教育長

感染症の罹患率、重症化率、また後遺症等生徒の感染リスクを少しでも回避するため、ワクチン接種者を参加要件とした。

問 訂正の内容を確認したところ記載ミスというよりは選考方法、応募資格も大幅に変わる重大な過失である。

応募が終了してからの訂正ということで事後報告の形になっている。応募資格に変更があったという事で不平等性も感じる。事業をそのまま実施してよかったのか伺う。

答 学校教育課長

報道等で知る限り接種している方が低いと情報があったので判断した。数字としては持ち合わせていない。

問 応募資格に接種する期間も記されているが、課内でも協議したのか。他の専門的な機関に問い合わせたのか伺う。

エントリーの時点で誤った選考方法を記して募集をかけたという事に関して、明らかにこちらのミスで応募を控えたという方もいるのかもという事を含めて申し訳ないと感じている。

答 学校教育課長

本来であれば福祉保健課の意見をもらいながら進めるべきでしたが、現状は沖縄県であったり福祉保健課とは調整は行わなかった。



島袋 誠 議員

問3 令和4年度県外インターンシップ研修事業

応募資格、派遣者の選考

問 新型コロナウイルスワクチン接種

宮崎県綾町視察研修

日程：平成5年2月1日～3日（2泊3日）

参加議員：座間味邦昭 山城太 島袋輝也 座間味靖 根路銘弘美（文責 座間味靖）

綾町の自然生態系農業 ～持続可能な美しい町を目指して～

綾町は人口6,785人（男3,197人、女3,588人）、農業を基幹産業とする緑豊かな農山村の町です。

綾町の有機農業は、これまでの経済的な効率性を追求し化学肥料と農薬を多用してきた近代農業がもたらした歪みを正して、健康な土づくりを進め、自然の生態系に沿った農業を指向するものです。綾町憲章「自然生態系を生かして育てる町にしよう。」に基づいて、消費者の健康と文化的な生活の確保と健全な土づくりにより農業の振興を図ることを目的に「自然生態系農業の推進に関する条例」を制定し、自然生態系農業の基準と認証方法など、綾町が責任を持って健康な本物の野菜を提供していくシステムを確立しました。

綾町長 初田 学



農産物直売所 手づくりほんものセンター

平成元年(1998年)開設。令和元年(2019年)の販売額は2億9400万円、来客数23万人、363日営業、1日当たりの売上81万円、客数637人です。お客様のほとんどは、安全な食べ物を求める町外の消費者であり、「綾ブランド」の発信の拠点になっています。

健全な土づくり「土壌診断をする。有機質肥料を使用する。深く耕す。土壌消毒剤は使用しない。」、元気な作物を育てる「化学合成農薬・除草剤は使用しない。遺伝子組み換え作物は利用しない。天敵や微生物農薬等を利用する。」を基に、認証基準の仕組みをつくり、各野菜に金・銀・銅の認証シールを貼って販売しています。

有機農業振興係 係長 小八重 志保



有機肥料の確保

町が運営する家庭生ゴミ等を堆肥にする施設、し尿を液肥にする施設と農協が運営する家畜糞尿処理施設があります。町の堆肥は一袋200円で販売し、液肥は無償で散布まで行っています。町の堆肥をつくる施設は運営費が年間750万円で、堆肥販売収入は5万円です。し尿液肥施設は運営費が年間800万円で、町がすべて負担しています。有機農業振興係には数千万の予算があります。

有機農業振興係 係長 湯浅 邦弘



特旨叙位及び特別叙勲伝達式



與那嶺好和氏

令和4年12月21日午後1時30分より県庁6階特別室において、特旨叙位及び特別叙勲伝達式が執り行われました。

本村からは、故與那嶺好和氏(享年70歳)が受章対象者となり、與那嶺絹江(妻)さんと久高望(子)

さんが式典に参加されました。

氏の、議会議員活動(7期28年)、広域行政活動(本部町・今帰仁村消防組合議員・本部町・今帰仁村清掃組合議員)及び漁業振興等に尽力された功績が評価され、日本国天皇より旭日双光章が授与されました。



研修

町村議会議員・事務局研修会 令和5年1月31日(火) 開催地 那覇市 パシフィックホテル



研修内容 市町村行財政等の状況
講師 沖縄県企画部市町村課長
沖縄農業の課題と解決提案
講師 加力 謙一 氏

研修

常任委員長・副委員長実務研修会



開催日 令和4年11月28日 開催地 那覇市 自治会館

新人議員研修会



開催日 令和5年1月31日 開催地 那覇市 自治会館

新しい議場



■執行部席



■議員席



■傍聴席



■委員会室・議員控室

編集後記

日本一早咲きのやんばるの桜、今帰仁城跡もピンク色に染まり、多くの来村者を魅了されたことでしょう。コロナ対策を講じつつ、様々なイベントが開催され、人の流れが戻りつつあるのは喜ばしい事です。

私も村議会議員になって数ヶ月、新人としての研修、初めての一般質問、議会用語、議会のルール、行財政のしくみについての法令のマスター等々、事務局や先輩議員から教わる事ばかりですが、住民全体の代表者たることを自覚し、住民の福祉向上のために、「小さな声」に耳を傾け、十分な調査を行い一般質問すること心がけ、住民の幸せを願う政策の論議活動をして参ります。

広報副委員長 根路銘弘美

